

ここでは、LEDタイルモニタシステム LEDタイルホストのUSBドライバを、ご利用のPCにインストールする手順を解説します。

この操作を行うことで、お使いのPCでUSBタイルホストを使用することができるようになります。

LEDタイルホスト USBドライバは、ご利用に以下の環境を必要とします。

#### 対応OS

Microsoft WindowsXP  
Microsoft Windows Vista  
Microsoft Windows 7

#### スペック

Intel Pentium4 1.0GHz 以上のCPU  
256MB以上のメインメモリ  
1GB以上の空きHDD容量

なお、この作業は、USBタイルホストをPCに接続しない状態で行って下さい。

また、以下の操作はWindows 7 環境下での作業を想定しています。

## 1) ドライバのダウンロード

以下のサイトから、LEDタイルホスト USBドライバをダウンロードして下さい。

<http://ksdt.jp/product/LEDTileMain.html>

ダウンロードした「TileHostDriver.zip」ファイルを、わかりやすい場所で解凍してください。

「TileHostDriver」フォルダが作成され、その中に「TileHost Driver inf」フォルダが作成されます。

## 2) LEDタイルホストの接続

LEDタイルホストにUSBケーブルとACアダプタを接続し、PCにUSBケーブルを差し込んで下さい。

Pcがドライバの検索を開始するので、これを省略するか、終了するのを待って下さい。

検索が終了すると、図1のような画面が表示されます。

ここで、「閉じる(C)」を選択し、インストール画面を閉じて下さい。



図1 ドライバインストールの失敗

## 3) デバイスマネージャの参照

コントロールパネルから「デバイスマネージャ」画面を開き、「ほかのデバイス」の項目を開いてください。

そこに表示されている「CDC RS-232C LEDTile Host」が、LEDタイルホストのドライバです。

これを、右クリックの後、「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックしてください。

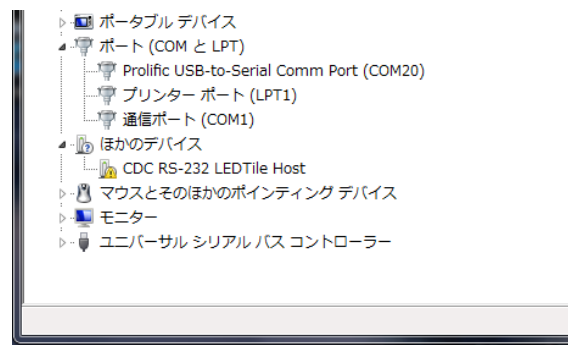


図2 デバイスマネージャ画面

## 4) ドライバソフトウェアの更新

図3「ドライバーソフトウェアの更新」画面が表示されます。

手動でドライバを設定するため、画面下側の「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)」をクリックして下さい。

開かれるアドレス指定ウィンドウで、先ほど解凍した「TileHostDriver」フォルダ内の「TileHost Driver inf」フォルダを指定して下さい。

これにより、指定フォルダのドライバが利用されます。

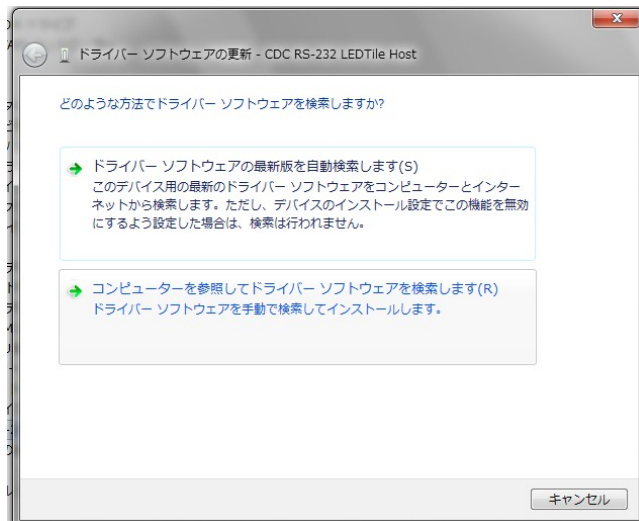


図3 ドライバソフトウェアの更新

## 5) ドライバソフトウェアの発行元検証

ドライバーソフトウェアの発行元が検証できないと、図4のような画面を表示する可能性があります。

ここでは、先ほど指定したドライバを使用するため、画面下の「このドライバーソフトウェアをインストールします(I)」をクリックして下さい。

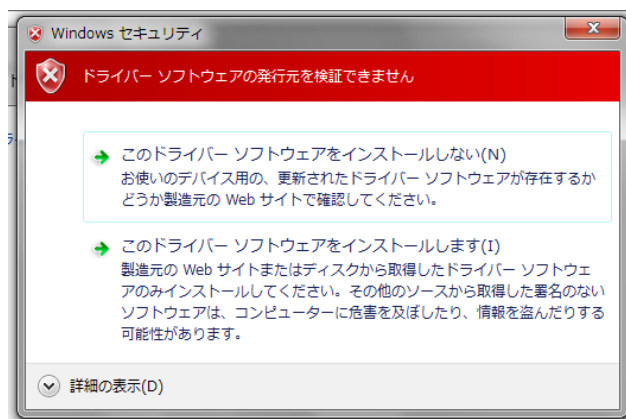


図4 ドライバソフトウェアの発行元検証

## 6) インストールの終了

以上の操作により、ドライバのインストールは終了します。

デバイスマネージャ画面で確認すると、図5のように「CDC RS-232 LEDTile Host」のデバイス情報と、対応するCOMポート番号が表示されているはずです。

このCOMポート番号は、LEDタイルモニタユーティリティで使用するため、メモするなどして控えておいて下さい。

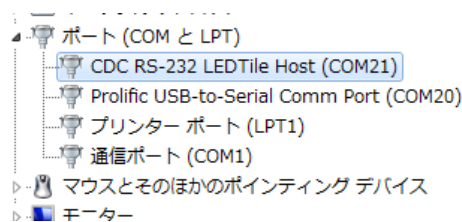


図5 デバイスマネージャ画面 (インストール後)